



2025年8月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年1月10日

上場会社名 株式会社メディア工房 上場取引所 東
 コード番号 3815 URL http://www.mkb.ne.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 長沢 一男
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 長沢 和宙 (TEL) 03-5549-1804
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年8月期第1四半期の連結業績(2024年9月1日~2024年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年8月期第1四半期	476	△9.1	△37	—	△39	—	△39	—
2024年8月期第1四半期	524	3.5	3	△69.4	1	△77.9	△4	—

(注) 包括利益 2025年8月期第1四半期 △39百万円(—%) 2024年8月期第1四半期 △4百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2025年8月期第1四半期	円 銭 △3.94	円 銭 —
2024年8月期第1四半期	△0.45	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年8月期第1四半期	2,334	1,005	43.1
2024年8月期	2,651	1,045	39.4

(参考) 自己資本 2025年8月期第1四半期 1,005百万円 2024年8月期 1,045百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年8月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2025年8月期	—	—	—	—	—
2025年8月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年8月期の連結業績予想(2024年9月1日~2025年8月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	—	—	—	—	—	—	—	—	—
通期	2,186	8.6	△61	—	△69	—	△75	—	△7.44

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2025年8月期の通期業績見通しは、各事業の見通しに基づき予測する数値となっております。各事業の進捗並びに業績に与える影響を精査の上、当該連結業績予想に変更が生じた際は、速やかに訂正・開示いたします。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2025年8月期1Q	11,300,000株	2024年8月期	11,300,000株
2025年8月期1Q	1,221,144株	2024年8月期	1,221,144株
2025年8月期1Q	10,078,856株	2024年8月期1Q	10,078,923株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載される業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提条件に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績のご利用に当たっての注意事項等に関しては、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計方針の変更)	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9
(セグメント情報等の注記)	10
(収益認識関係)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、物価上昇による消費の伸び悩みや景気動向指数の横ばいが継続したものの、サービス消費の持ち直し等により緩やかな回復基調を維持しました。また、世界経済においては、アメリカを中心に堅調に推移する一方、地政学的緊張や貿易の断片化、金利の長期高止まりの他、各国で気候関連の災害が生じるなど、景気の下振れリスクが依然として存在しています。

このような情勢の中、当社グループは、前連結会計年度において事業の選択を行い、リソースの集中を決定した既存事業の収益拡大と既存事業とシナジーの高い新規参入事業の収益化に向けて、全社的な体制の整備と新規サービスの開発に注力してまいりましたが、1対N向け占いコンテンツサービスの事業体制再構築に伴う費用増の他、株主数の大幅な増加に伴う管理コストの増加及び採用費の増加等が営業利益を圧迫し、損失を計上しております。

以上の結果、当社グループの当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高476百万円(前年同期比9.1%減)、営業損失37百万円(前年同期は営業利益3百万円)、経常損失39百万円(前年同期は経常利益1百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失39百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失4百万円)となりました。

セグメントごとの取組み内容及び経営成績は、以下のとおりであります。

① 占い事業

占い事業においては、自社Webサイト、ISP、各移動体通信事業者及びApple や Google 等のプラットフォーム向けに占い鑑定や女性に向けた記事コンテンツを企画・制作・配信する1対N向けのサービス及びユーザーと占いが電話・チャットで直接、双方向にやり取りできる1対1向けのサービスを行っております。前連結会計年度において新規コンテンツの制作本数を大幅に削減したことが当第1四半期連結累計期間の運用コンテンツ全体の売上高に影響した他、電話・チャット占いサービスにおけるシステム投資の増加により、利益が低下いたしました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における占い事業の売上高は449百万円(前年同期比9.3%減)、営業利益は99百万円(前年同期比26.7%減)となりました。

② エンタメ・マッチングサービス事業

エンタメ・マッチングサービス事業においては、SNSを中心に、ネットとリアルの両面において人々の交流・関係構築の機会や場を提供するサービスを行っており、当第1四半期連結累計期間においては主に「きゃらデン」の運営を行っております。前連結会計年度において事業の選択と集中を行い、2つのサービスからの撤退等を行った結果、前年同期比で営業赤字が大幅に縮小しております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間におけるエンタメ・マッチングサービス事業の売上高は26百万円(前年同期比7.9%減)、営業損失は1百万円(前年同期は営業損失33百万円)となりました。

③ その他事業(韓国コスメEC/美容関連アプリ開発 他)

当社グループでは、企画・開発の初期段階にある事業について、金額又は連結売上高若しくは連結営業利益に占める割合等から重要性が低いと判断した事業等については、一括して「その他」セグメントとして区分し、計上しております。当第1四半期連結累計期間においては、主に韓国コスメEC「CoréelleJAPAN」の運営及び新規美容関連サービス「肌アプリ(仮称)」の開発を推進してまいりました。「CoréelleJAPAN」において新規ユーザーの獲得に向けた広告宣伝費等が増加した他、一部自社メディアの改修等により費用が先行し、前年同期比で営業損失が拡大しております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間におけるその他の売上高は0百万円(前年同期比108.3%増)、営業損失22百万円(前年同期は営業損失14百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の当社グループの財政状況は以下のとおりです。

なお、資本の財源及び資金の流動性にかかる情報については、当第1四半期連結会計期間末において、重要な変更等はございません。

① 資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末と比較して316百万円減少し、2,334百万円となりました。

これは主に、現金及び預金の減少344百万円及び売掛金の減少18百万円によるものであります。

資産の内訳は、流動資産1,882百万円、有形固定資産6百万円、無形固定資産190百万円、及び投資その他の資産254百万円となっております。

② 負債の状況

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末と比較して276百万円減少し、1,329百万円となりました。

これは主に、借入金の返済191百万円によるものであります。

負債の内訳は、流動負債836百万円、固定負債493百万円となっております。

③ 純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末と比較して39百万円減少し、1,005百万円となりました。

これは主に、利益剰余金の減少39百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループの連結業績予想などの将来予測情報については、2024年10月11日の「2024年8月期 決算短信」で公表しました内容、数値から変更はありません。その内容は次のとおりです。

今後については、雇用・所得環境の改善等景気回復への期待が高まる一方、原材料価格の高止り、人手不足の深刻化とこれに伴う人件費の高騰、世界経済においても地政学リスクの高まりや中国等の景気後退が懸念となり、依然として先行き不透明な状況が続くものと予想されます。

当社グループの属するデジタルコンテンツ業界においても、プラットフォーム以外は、配信プラットフォームの方針に収益が左右される側面が強く、新規顧客の獲得においてもWeb広告が標準的な広告手法へとなりつつあることから、競争はますます激化するものと見込まれます。

このような中、当社グループでは、2024年8月期における事業精査と選択の結果、リソースの集中を決定した既存事業の収益拡大と既存事業とシナジーの高い新規参入事業の収益化を進めるにあたり、全事業に展開可能なシステム（マーケティング他）の開発やChatGPTをはじめとする生成AI等の活用により、生産性・ユーザー体験の向上を図ってまいり所存です。

以上を踏まえ、当社グループは、次期以降の連結業績について下記のとおり予想、数値目標を定めております。

(単位：百万円)	2024年8月期 (実績)	2025年8月期 (予想)	2026年8月期 (計画)
売上高	2,012	2,186	2,837
・ 占い事業	1,900	1,986	2,262
(デジタルコンテンツ)	1,188	1,200	1,395
(電話・チャット)	712	786	867
・ エンタメマッチング事業	109	125	214
・ その他事業 (新規美容アプリ含む)	2	75	360
営業利益	△141	△61	175
・ 占い事業	487	477	555
(デジタルコンテンツ)	392	373	433
(電話・チャット)	95	104	122
・ エンタメマッチング事業	△100	△23	△0
・ その他事業 (新規美容アプリ含む)	△96	△90	45
・ 共通 (管理) 部門	△431	△425	△425

なお、これらの数値は、各事業の見通しに基づき予測する数値となっております。従って、新規事業の進捗に変更がある場合、利用ユーザー数が大幅に見込みを上回る若しくは下回る場合又は当社グループ事業に関連する法令が改正されあるいは情勢が変化した場合、変動する可能性があります。

また、財務面に関しては、これまで同様、資産の透明性を確保し、新規事業への挑戦を安定した内部留保によって下支えする健全な経営を行う考えであります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,960,337	1,615,658
売掛金	227,283	208,688
仕掛品	2,750	10,759
貯蔵品	293	366
その他	41,075	47,948
貸倒引当金	△635	△576
流動資産合計	2,231,105	1,882,844
固定資産		
有形固定資産	6,802	6,780
無形固定資産	148,152	190,049
投資その他の資産		
敷金及び保証金	94,559	94,460
その他	173,960	163,823
貸倒引当金	△3,349	△3,349
投資その他の資産合計	265,169	254,934
固定資産合計	420,125	451,763
資産合計	2,651,230	2,334,607
負債の部		
流動負債		
買掛金	52,025	49,050
1年内返済予定の長期借入金	669,228	602,658
未払費用	43,124	39,651
未払法人税等	6,019	2,285
未払消費税等	5,787	11,654
株主優待引当金	74,114	1,594
その他	137,973	129,150
流動負債合計	988,272	836,045
固定負債		
長期借入金	617,869	493,168
固定負債合計	617,869	493,168
負債合計	1,606,141	1,329,213

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年11月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	451,459	451,459
資本剰余金	422,578	422,578
利益剰余金	685,269	645,574
自己株式	△514,219	△514,219
株主資本合計	1,045,088	1,005,393
純資産合計	1,045,088	1,005,393
負債純資産合計	2,651,230	2,334,607

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年9月1日 至 2023年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年9月1日 至 2024年11月30日)
売上高	524,268	476,507
売上原価	252,283	237,476
売上総利益	271,984	239,031
販売費及び一般管理費	268,720	276,231
営業利益又は営業損失(△)	3,264	△37,199
営業外収益		
受取利息	833	1,166
その他	61	104
営業外収益合計	895	1,271
営業外費用		
支払利息	2,345	3,281
その他	0	24
営業外費用合計	2,345	3,306
経常利益又は経常損失(△)	1,814	△39,234
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	1,814	△39,234
法人税、住民税及び事業税	393	460
法人税等調整額	5,971	-
法人税等合計	6,365	460
四半期純損失(△)	△4,550	△39,695
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△4,550	△39,695

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年9月1日 至 2023年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年9月1日 至 2024年11月30日)
四半期純損失(△)	△4,550	△39,695
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	9	-
その他の包括利益合計	9	-
四半期包括利益	△4,540	△39,695
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△4,540	△39,695

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前年四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年9月1日 至 2023年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年9月1日 至 2024年11月30日)
減価償却費	9,270千円	8,103千円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2023年9月1日 至 2023年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	占い事業	エンタメ・マッ チングサービス 事業	計				
売上高							
顧客との契約から 生じる収益	495,025	28,813	523,839	429	524,268	—	524,268
外部顧客への売上 高	495,025	28,813	523,839	429	524,268	—	524,268
セグメント間の 内部売上高又は振 替高	—	—	—	—	—	—	—
計	495,025	28,813	523,839	429	524,268	—	524,268
セグメント利益又は セグメント損失(△)	135,868	△33,752	102,115	△14,106	88,008	△84,744	3,264

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、EC事業などの事業を含んでおります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△84,744千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用84,744千円が含まれております。全社費用は、主に当社の管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2024年9月1日 至 2024年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	占い事業	エンタメ・マッ チングサービス 事業	計				
売上高							
顧客との契約から 生じる収益	449,065	26,549	475,614	893	476,507	—	476,507
外部顧客への売上 高	449,065	26,549	475,614	893	476,507	—	476,507
セグメント間の 内部売上高又は振 替高	—	—	—	—	—	—	—
計	449,065	26,549	475,614	893	476,507	—	476,507
セグメント利益又は セグメント損失(△)	99,545	△1,353	98,192	△22,192	76,000	△113,200	△37,199

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、EC事業などの事業を含んでおります。
2. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△113,200千円には、各報告セグメントに配分していない
全社費用△113,200千円が含まれております。全社費用は、主に当社の管理部門に係る費用であります。
3. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「注記事項(セグメント情報等の注記)」に記載のとおりであります。